

新型コロナウイルス感染・生活困窮で 困っている子どもと家族のために、岡山県社協へ寄付

コロナ禍や物価高騰の影響で、子どもやその家族を巡る生活課題が長期化し、貧困や格差の問題はより深刻となっています。岡山県生協連は、深刻化している子どもと家族の生活課題解決のために、社会福祉協議会が地域住民や関係機関、団体と協力・連携して行う活動を支援したいと、岡山県社会福祉協議会（以下、県社協）と市町村社会福祉協議会（以下、市町村社協）へ寄付することとしました。

県社協より市町村社協に「新型コロナウイルス感染・生活困窮で困ってる子どもと家族のための支援金」受入を募集した結果、高梁市社協、新見市社協、矢掛町社協、岡山県社協にて、子ども食堂等の活動支援、あたたかい年末年始を過ごすための食料・日用品、中学・高校進学者への文房具などの費用に活用されます。



12月20日（火）オルガ（岡山市）にて贈呈式が開催され、県生協連 平田昌三会長理事から県社協 足羽憲治会長へ支援金 100万円の目録が手渡され、「くらしがより厳しさを増しています。生協は助け合いの組織として、子どもの支援を中心に少しでも直接的に役に立ちたい、また地域の日々の活動を支えている方々を支えたいと思っていることをお伝えいただきたいです」と挨拶がありました。

県社協の足羽会長から、「貧困と格差はさらに拡大し、経済的、複雑かつ複合的な課題を抱える方の日常生活を支える必要がある。誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けられる地域社会づくりに向けて、日頃から会議や意見交換などを通じて、今まで以上の連携や協同の関係を構築していきたい」とお礼の言葉をいただきました。

これからも、地域のみなさまと連携しながら取り組んでまいります。



（左から）岡山県生協連 和田副会長理事、福井副会長理事、平田会長理事。岡山県社協 足羽会長、岡次長。（撮影時のみマスクを外しています。）

岡山県生協連の会員生協：岡山県学校生活協同組合、三井造船生活協同組合、岡山医療生活協同組合、倉敷医療生活協同組合、生活協同組合おかやまコープ、こくみん共済coop岡山推進本部（岡山県労働者共済生活協同組合）、ヤンマーアグリ岡山地区生活協同組合、津山医療生活協同組合、岡山大学生生活協同組合、グリーンコープ生活協同組合おかやま、就実生活協同組合